



No. 306
しゃっちょうは行く!

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

推薦入試を終え、薬学部への入学が決まった高校生が出てくる季節です。

2008年に1万2,170人という最大の入学人数を誇った薬学部ですが、その後、学部数は増えたものの、入学人数は更新されず、現在は入学定員充足率が80%以下になっている大学が約3割に達しており、1万1,000人台を推移しています。

現在、6年間で国家試験に合格した学生（ストレート合格率）が18～85%と大学ごとに差があることや、卒業率の格差も顕著に見られることから、薬学部は文部科学省から「教育の質の確保を強化すべきだ」と指摘されています。特に入学試験については文系・理系を問わず、1科目だけでクリアできる大学もありますので、入り口戦略をしっかりと練ることが求められています。

薬学部には、物理薬剤学や生物薬剤学、有機化学・無機化学と、基礎学力から薬学へと発展したものが多くあります。高校時代に物理・化学・生物・数学の基礎学力がない中、これらを理解することなく、暗記で6年生まで上がってきた学生や卒業生が激増していることを、国家試験現場では痛切に感じています。そのため、メディセレに来た生徒には、まずはそこから指導をしています。

今年の薬学部人気はどうなるのでしょうか。人気のある大学と苦戦する大学の差はさらに広がるかもしれません。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子